

ICタグで新書情報表示 検索システム 県内初の導入

上高井郡小布施町の町立図書館「まちとしょテラソ」は、所蔵する新書を専用の台の上に載せると、本に関連した情報がパソコンの画面に示される最新の検索システムを導入した。開発に当たった国立情報学研究所(東京)の協力で、県内で初めて設置した。入門書である新書を通じて、利用者に知識を深めるヒントを提供する試みだ。

ICタグ(電子荷札)を付けた同館所蔵の新書50冊が対象。本を台の上に置くと、タグに埋め込まれた固有番号が読み込まれ、本の内容に関連した情報がインターネットを通じてパソコンの画面に表示される。そこから、さらに興味を持った情報を探

小布施



台の上の新書のICタグの情報を読み込み、関連情報が表示された画面

すことができる。

例えば、浮世絵を取り上げた本では、瞬時に「浮世絵」「錦絵」「江戸時代」についての関連書籍の表紙などが表示される。さらに観光で検索すると、町内にある「北斎館」の施設の概要や写真も見ることができる。

同研究所は「従来のキーワード検索でなく、本の文章に関連のありそうな別の文章を探していく『連想検索』という方法を使っている。興味や関心に関連した幅広い情報にアクセスでき、学びのきっかけになる」としている。

同図書館は、本年度末まで利用状況を見守り、将来の活用策を検討する。花井裕一郎館長は「図書館を拠点に小布施の情報が世界とつながる一歩にしたい」と話していた。